

三大学協働基礎ゼミを行ないました

市川 桂

この号の内容

- 1 三大学協働基礎ゼミを行ないました
- 2 IGSプログラム:「高大連携教室」夏教室を無事終了
- 3 GPPプログラム:JAXA 筑波宇宙センター訪問
- 4 特別修学支援室(小金井)移転のお知らせ

三大学協働基礎ゼミの合同発表会を9月19日に電気通信大学で開催しました。

農学部と工学部の2学科ではおなじみの基礎ゼミですが、昨年度から東京外国語大学および電気通信大学と協働で行っている三大学協働基礎ゼミのことはご存知でしょうか？



本協働基礎ゼミは、文系、理系のそれぞれの強みを生かした「文理協働型グローバル人材育成プログラム」の一環として開講する、少人数で取り組むゼミ形式の授業です。今年度は、3つの大学から2テーマずつ設定し、それぞれのテーマには参加を希望した三大学の学部1年生54名が混在する形で配属されました。9月19日に電気通信大学にて行われた合同発表会では、ゼミごとに作成したポスターに基づいてそれぞれの学生が発表を行いました。

参加した学生は夏休み中に実験や調査に取り組み、学習成果の発表に向けて協働することで、新たな視点や、読解力、表現力、コミュニケーション能力、課題設定力および課題解決力などを少しずつ身につけることができたようです。来年度以降も、それぞれの大学から魅力的なゼミを開講予定です。協働基礎ゼミの担当あるいは副担当



教員についても、学内から広く募集しております。ご興味のある方は、fv4843@go.tuat.ac.jp までお知らせください。

IGS(グローバル科学技術人材養成)プログラム

ム:「高大連携教室」夏教室を無事終了

「高大連携教室 (IGS プログラム)」を広島、浜松、東京の3会場で開催しました。

尾崎 宏和

IGS プログラムは、文部科学省「大学教育再生加速プログラム：テーマⅢ高大接続」事業として、2014年度から実施されています。「高大連携教室」はその中心をなす行事で、理系の研究に関心のある高校2年生を対象に、夏、冬、春の年3回開催されています。この夏は、8月10日(木)広島、22日(火)浜松、25日(金)小金井キャンパスの3会場で行いました。今回は事前課題として「食料問題」について各自が調べ、当日は解決策についてグループで議論して、最終的にプレゼンテーションを行うアクティブラーニングを経験しました。参加した高校生は、食料の効率的な生産、品種改良、高齢化する農業従事者の支援、IT技術の導入など、様々なアプローチの方法に気づき、農学、工学の研究が課題解決につながることを理解できたようです。また、主体的に取り組む姿勢が大切なことや、他者と協働することで大きな成果が得られることも実感できたと振り返っていました。ファシリテーターとして参加した農工大生とのコミュニケーションが、将来の大学生活をより具体的にイメージさせ、モチベーションを高める効果もあったようです。



議論と発表を通じ、高校生は科学的、論理的な考え方を身につけます。農工大大学院生(左)は、そのサポートをしました。(2017年8月22日、浜松会場)

高大連携教室の実施には、学内の先生方、現役学生、留学生、事務職員の方々に協力をいただいております。この場を借りてお礼を申し上げますとともに、今後ともご協力をお願いいたします。



GPPプログラム: JAXA 筑波宇宙センター訪問

岩田 陽子



Global Professional Program の今年度のテーマは、「宇宙（持続可能な社会）」です。9/26(火)、宇宙または宇宙開発に関する理解を深めるために、GPP生（学部1～博士後期3年）および教員総勢45名で

JAXA 筑波宇宙センターを訪問いたしました。

まず、セキュリティの厳しい宇宙飛行士訓練棟、国際宇宙ステーション(ISS)管制室を見学いたしました。特に宇宙飛行士訓練に使用する閉鎖環境適応訓練設備においては、まさに「持続可能な社会」のためにどのような環境適応に関する課題を追究していくべきかという問いに、学生たちも試行錯誤しておりました。

次に、JAXA 広報部特任担当役の松本勇氏から宇宙開発の最前線に関するご講義をいただきました。宇宙開発によるスピノフ事例の紹介を中心としつつ、アイデアが生まれるプロセスや、アイデアが産業または社会で活用されている実例等について理解を深めることができました。

最後に、スペースドームにて、我々の生活に欠かせない通信衛星、気象



衛星等の実物大模型等を見学いたしました。

学生たちは宇宙または宇宙開発に関する最前線を目の当たりにし、非常に大きなインスピレーションを得られたようです。いよいよ学生たちによるアイデア構築がスタートいたしますが、その様子は引き続き、こちらの NEWS LETTER でご紹介いたします！

特別修学支援室(小金井)移転のお知らせ

「特別修学支援室(小金井)」
移転しました。

馬淵麻由子

2017年9月より、小金井キャンパスの特別修学支援室が移転いたしました。新しい相談室は、管理棟1階の保健管理センター内となります。身体面の相談やカウンセリングも利用しやすくなりました。ご家族や教職員からの相談も随時受け付けております。お気軽にお問合せください。



◆特別修学支援室 窓口◆

府中地区 学生系事務棟1階 教育企画課内

月曜日～金曜日 8:30～17:15

(但し、祝日、創立記念日、入試実施日、一斉休業日を除く)

TEL 042-367-5545 / FAX 042-367-5557

【面談場所】*面談場所は応相談

府中地区 本館1階 特別修学支援室

または、府中保健管理センター内

小金井地区 管理棟1階 小金井保健管理センター内



東京農工大学 大学教育センター

〒183-8538

東京都府中市晴見町3-8-1

府中キャンパス 本部・学務棟2階

電話番号:042-367-5882(教育企画課)

FAX 番号:042-367-5557

電子メール: ched-1@cc.tuat.ac.jp